

# 【小施策評価(令和元年度実績評価)】

## 小施策の総合計画における位置付け

基本目標	4	人が集い活力を生むまちづくり	小施策 主管課等	交通政策課	
施策	27	交通環境の構築	評価 責任者	清水 治	内線 2760
小施策	27-3	自転車、歩行者のための交通環境の充実	評価 シート 作成者	藤原 司	内線 2761

## 小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
歩行者・自転車・自動車が輻輳(ふくそう)している道路が多いことから、歩行者や自転車の安全確保が課題となっている。また、自転車の放置や自転車マナーの悪化が問題となっており、自転車利用の適正化に向けた取組が求められている。	自転車の利用促進と歩行環境の向上を図るために、ブルーゾーンや自転車駐車場などの整備や放置自転車対策のほか、通学路を中心とした交通安全施設の整備を進める。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
自転車 歩行者	自転車の利用促進が図られる。 歩行環境が向上し、安心して通行できる。

## 小施策の成果指標の達成状況・評価(令和元年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
指標	単 位	目指す方向	成果点	⇒	成果の要因分析
指標① まちづくり評価アンケート調査「自転車で快適に移動できる」と答えた市民の割合	%	↗	当初値 (H25) 34.2		R1目標値 37.0
			R6目標値 39.8		
			・市道高松二丁目高松四丁目線及び都市計画線道路梨木町上米内線において、自転車走行空間を整備し、歩行者や自転車利用者の安全で快適な移動環境を整えた。	⇒	・盛岡市自転車ネットワーク計画に基づき、自転車走行空間の効果的な整備の方針により、整備に取り組んだ。
			問題点	⇒	問題の要因分析
			・まちづくり評価アンケート調査による「快適に移動できる」と感じている市民の割合が低い。	⇒	・自転車走行空間の整備の推進に必要な財源確保が不十分であり、整備完了区間がまだ少ないこと。 ・駐輪場用地(路上を含む)及び財源確保。
指標② まちづくり評価アンケート調査「徒歩で快適に移動できる」と答えた市民の割合	%	↗	当初値 (H25) 52.3		R1目標値 55.6
			R6目標値 58.9		
			・盛岡駅前周辺での自転車等の放置数は、近年減少傾向である。	⇒	・「放置自転車対策事業」において、夕方(5月から8月までは毎週、平日1回)及び休日(月1回、12月から3月を除く)警告・撤去の取組により、放置自転車数の減少に貢献している。
			問題点	⇒	問題の要因分析
			・放置自転車が発生する状況が続いている。 ・自転車の歩道走行。 ・冬季の積雪・凍結。	⇒	・放置自転車対策事業では、放置禁止区域や市営自転車駐車場の場所を知らない人がいること。また、それらのことを知っていても、自転車駐車場は駅から遠いとの理由で、わかっていながらも放置してしまう状況があると見られ、それらの問題を解消できずにいること。 ・自転車走行空間の整備を推進するために必要な財源確保が不十分であり、整備完了区間がまだ少ないこと。 ・財源確保が困難であり、歩道融雪装置の整備が進んでいない。

## 今後の方向性(令和2年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R2年度着手済または着手予定 ☆…R3年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 自転車の安全と利用促進に関する事業では、国、県と連携した自転車走行空間のネットワーク化の推進について、引き続き、関係機関との整備時期の調整や、国の補助制度を活用した整備など、財源確保の検討も合わせながら整備に取り組む。</li> <li>★ 利用環境の整備、交通安全、利用促進の啓発、観光推進、健康増進等、幅広い分野において自転車の活用を推進していくことや財源確保にむけ、自転車活用推進計画の策定に取り組む。</li> <li>★ 新バスセンター整備にあわせ、センター内に駐輪場を確保することで検討中。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 放置自転車対策事業では、放置禁止区域と市営自転車駐車場の情報について、市ホームページやツイッターからの発信を行うほか、自転車の利用が多い市内の高等学校、専門学校及び大学にチラシ配布し周知に取り組む。</li> <li>★ 盛岡駅前自転車駐車場について、より駅に近く、利用しやすい場所への機能移転の検討を進める。</li> <li>★ 自転車の安全と利用促進に関する事業では、国、県と連携した自転車走行空間のネットワーク化の推進について、引き続き、関係機関との整備時期の調整や、国の補助制度を活用した整備など、財源確保の検討も合わせながら整備に取り組む。</li> <li>★ 歩道除雪及び融雪剤散布により対応している。</li> </ul>	